

環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定(CPTPP) 第4回 TPP 委員会の機会における閣僚共同声明(仮訳)

2021年6月2日、豪州、ブルネイ・ダルサラーム、カナダ、チリ、日本、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、シンガポール及びベトナムを代表する閣僚及び上級職員は、議長国である日本主催のもと、第4回 TPP 委員会の機会に、ビデオ形式で会議を行った。

我々は、2021年2月1日に英国から受領したCPTPPへの正式な加入要請を歓迎し、その要請によって、締約国は、英国との加入手続を開始する決定に至り、加入作業部会を設置した。

CPTPPとCPTPP加入への関心の重要性

新型コロナウイルス感染症により世界経済が低迷し、制限的、不当な貿易慣行等の内向き志向も見られる中、我々は、CPTPP のような革新的でハイスタンダードな協定には、我々の地域において、また、それを越えて、ポスト・コロナの貿易及び経済回復に重要な貢献を行い得る旨確認した。我々は、そのために、サプライチェーンの強靱性を高め、電子商取引を促進することを含め、我々の現在の活動を継続する決意である。

この観点から、我々は、英国の加入手続開始及び潜在的な CPTPP の拡大が、世界中の我々の貿易パートナーに対して、自由かつ公平で、開かれた、効果的、包摂的なルールに基づく貿易システムを支持するコミットメントの強いシグナルを送ることになるとの認識を共有する。

英国との加入手続の開始は、アジア太平洋地域及びそれを越えて、21世紀型のハイスタンダードなルールを広げ、自由貿易、開かれた競争的市場、及び経済統合を更に推進する機会をもたらす。

これらの目的は、協定第5条及び2019年1月の東京での第1回会合においてTPP委員会が採択された加入手続に合致している。これらは、CPTPPが、これらの目的にコミットし、協定のハイスタンダードを満たせるエコノミーによる加入に開かれていることを明確にしている。

これらの目的を促進するに際し、TPP委員会は、加入希望エコノミーが、CPTPP加入手続で定められたベンチマークに従って、協定を全面的に受入れ、また、協定の既存の全てのルールを遵守すること及び最も高い水準の市場アクセスの約束を提供することに対するコミットメントを証明する重要性を強調した。

英国の加入手続開始の決定

委員会は、決定に際し、CPTPPのハイスタンダードなルールを前進させる必要性を念頭に置き、ハイスタンダードな国際貿易・投資ルールについての英国の経験、ルールに基づく貿易システムにおいて、透明性、予測可能性並びに信頼性を推進するという明確なコミットメント、並びに、CPTPPの高い水準を満たす意図及び能力についての英国の確約を考慮した。

英国の加入手続に関する作業は始まる所であり、本日の決定はプロセスの一

歩に過ぎない。英国はCPTPPの高い水準を満たす用意がある旨示してきた。我々は、英国が協定上の約束、特に既存の全ての規則の遵守を如何に満たすか理解するために、英国と共に取り組み、英国の市場アクセスオファーを受領し、その加入条件を交渉することを期待している。CPTPPは、関税及びその他の物品・サービス貿易及び投資に対する障壁の撤廃を通じて、最も高い水準の包括的な市場アクセスを達成することを目指している。我々は英国を、この努力に誠実に貢献する潜在力のあるパートナーとみている。

加えて、我々は、英国の潜在的な参加が、CPTPP参加国によって共有されている、相互利益、共通の価値、そしてルールに基づく貿易システムを擁護することに対するコミットメントを支持するであろうことにも留意する。また、それは、市場志向の原理を推進し、保護主義及び不当な貿易制限措置の使用に対抗することにも役立つであろう。

全署名国による CPTPP 発効

我々は、CPTPP メンバー内の結束を維持する重要性を強調し、CPTPP が未だ効力を生じていない署名国が、可及的速やかに協定を締結し、今回及び将来の加入手続に締約国として関与することにつき希望を表明する。